

令和4年度事業報告並びに附属明細書の承認について(決議事項)

令和 4 年度 博物館網走監獄事業報告書

令和 4 年度の総括

昭和 58 年の博物館開館から 40 年目となった令和 4 年度、令和 2 年から続く新型コロナウイルスの影響は第 7 波、第 8 波と収束に至りませんでした。昨年と比べて、感染者数も減少傾向が続く秋以降の北海道 LOVE 割、全国旅行支援などの観光支援策の効果もあり、徐々に入館者数も増えてまいりました。流氷の季節を迎える頃には、台湾、香港などインバウンドが回復傾向となり最終的には、入館者目標 16 万人に対しまして、有料入館者 203,426 人前年比 154.2%と 3 年ぶりに入館者数は 20 万人をこえることができました。入館料につきましても 40 年ぶりに改定し、1100 円(消費税込み)から 1500 円に値上げさせていただいた結果、入館料収入 274,686,240 円と収入増となりました。入館料収入が計画通り確保できたことから、ご承認頂きました令和 4 年度事業計画も予定通り全て実施することができました。

7 月に開催した開館 40 周年記念事業は、イベントの人数制限が設けられている最中での開催のためソーシャルディスタンスを保つことのできる 200 席に設定しジャズピアニスト山下洋輔氏をお迎え「ライブ&ソロコンサート」開催いたしました。全国各地から 200 名を超える方々の応募を頂き、満席で記念ライブは盛況のうちに終えることができました。地域の皆様や役員の皆様のご支援ご協力により、開館 40 年を迎えられたことに感謝するとともにこれからも魅力ある博物館作り持続可能な博物館として運営できるよう、心を新たに邁進してまいります。

6 月 7 日には、開館から通算有料入館者 1300 万人を達成し、赤煉瓦の正門で記念セレモニーを行いました。北海道内の登録博物館としては、旭山動物園につぐ入館者数であり、博物館の役割である、社会教育施設として更には地域の観光拠点としてこれからも一翼を担っていけるよう気を引き締めてまいります。

重要文化財耐震補強事業は、令和 6 年度より取り掛かれるように、文化庁、北海道と協議を重ね、耐震補強事業積立金も年度末に 1 億円を積み増すことができました。目標の令和 8 年まで積立金を積み増し、事業の準備を継続してまいります。

以下、令和 4 年度の事業詳細を報告いたします。

1 重要文化財の保存と価値を高める活用を図る

令和4年度の博物館網走監獄は開館から40年目の節目で記念すべき年となりました。昭和58年の開館から通算で有料入館者数が1300万人目の来館者を迎えることができました。その記念セレモニーを6月7日に赤煉瓦正門の前で実施いたしました。

図らずも、当館への来館が2度目という兵庫県から来館された方に記念のニポポ人形と記念品をプレゼントさせて頂きました。また開館40周年イベントを7月3日重要文化財の教誨堂にて「ジャズピアニスト山下洋輔ソロコンサート」を開催いたしました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、大型イベントの入場制限がある中の開催でしたが、全国各地から応募いただき駆け付けたファンや地元網走の方々にも盛況で無事実施することができました。

懸案である重要文化財耐震補強工事を令和6年度から進めるための、文化庁、北海道、文化財建造物保存技術協会との会議を現地にて重ね、単なる鉄骨補強という安易な補強にならないよう重要文化財の魅力を損なうことのないよう、更には費用対効果のある事業となるよう議論を進めております。しかし文化財保護法という制約の中で、難しい局面ですが今後も引き続き検討を行ってまいります。

(1)重要文化財を災害から守るため、消防設備保守点検を4月に実施、二見ヶ岡支所の避難誘導灯を設置しました。さらに、電気保安協会による動力消防ポンプ改修工事を7月に実施いたしました。

(2)二見ヶ岡刑務支所内の防火水槽及び止水栓改修工事を実施いたしました。

(3)重要文化財の維持にかかる防災体制の確立に取り組み、10月北海道重要文化財月間に網走市消防署、呼人消防団にご協力を頂き、五翼放射状舎房を火災出火場所に想定、放水や来館者避難誘導、消火器を用いての消火活動など総合防災訓練を実施いたしました。引き続き、職員にはひと月に2回の防火設備の点検と日常の火災予防に一層注視し、木造重要文化財の保存管理に努めてまいります。

(4)耐震補強工事実施に向け、事業開始時期の打ち合わせ、特別積立金計画に取り掛かり、積立金1億円を積み立ていたしました。

(5)建物見守り隊事業は、博物館友の会会員有志による「建物見守り隊」を結成し北海道重要文化財強化月間の10月に建造物の窓ふきとイベントを実施しました。網走刑務所二見農場の受刑者に出されていた加算食「でんぷん豆団子」「かぼちゃ団子」の提供、展示解説などを行い、来観者に喜ばれました。友の会会員も重要文化財建造物は網走の宝であり守り続ける使命を認識し積極的に活動しています。

2 充実した博物館の運営を図る

2020年から3年間続いた新型コロナウイルスの蔓延により、社会の在り方が変わる中で、博物館活動も人々が博物館に求めるものが変化し、多様性と不変性の両面を合わせ持ち事業運営に望まなければならない令和4年度となりました。

インターネット上のバーチャルミュージアム(仮想博物館)の大頭により、オンラインを代表とする新しい展示の見せ方が展開されるようになりました。この事により全国どこにいても博物館の展示や情報を活用できる利点が増えましたが、その一方で本物、実物に触れ体感する博物館本来の役割を求める人も多く、どちらも享受できる博物館が理想的な姿とされるようになりました。この流れに乗り遅れることのないよう試行錯誤の一年でした。人が行わなければならない博物館資料と市民を結びつける教育普及活動、公開講座、ワークショップはソーシャルディスタンスを取りつつコロナ前同様に再開しました。展示活動につきましてはデジタル化に向け、SNSで情報発信を積極的に展開、博物館プロモーションビデオは四季折々にドローン撮影を実施し、インバウンド向け博物館紹介を製作いたしました。アフターコロナを見据えて多様性と利便性を模索しながら実施してまいりました。

(1)社会教育活動

①体験講座・ワークショップ

コロナウイルス禍においても募集型体験講座、ワークショップは地域住民にとって博物館の役割を理解してもらえる機会ですので、地域市民を豊かにする体験講座「山ぶどうでエコバック作り」「経木でモビール作り」「メトロノーム作り」季節体験「大工道具で椅子作り」「六角凧作り」「しめ縄・藁亀作り」、農園刑務所網走の特徴を伝える「農園体験ワークショップ」5月11月までの9回の長期連続講座を開催、植え、肥料除草管理、収穫、調理加工実習と一連の作業を体験する講座を開催し、子供から大人まで多数の参加がありました。収穫したトウキビは収穫祭りで来館者に振る舞い、大豆は、味噌を作り、各家庭に持ち帰り今年6月頃味わう予定です。

「看守長屋の年中行事」は、網走刑務所職員官舎を活用し、日本古来の伝統行事を博物館に来館される全ての方を対象に実施。夏の七夕、秋の十五夜、正月絵馬作りと七草粥、鏡開き、節分、ひな祭りとして7回の行事を実施しました。

イベント事業として、ゴールデンウィーク5/3日～5/5日までイベント広場にて、重要文化財スタンプラリー、明治の子供遊び、竹馬検定、竹とんぼ作り、豆わらじ作りの実施、紙芝居、餅つきと柏餅作りを行い来館者の皆様に振る舞いました。9月の収穫祭は、3年ぶりに網走無窮会による三眺神輿の練り歩きと刑務所のねぶたの山車の展示、「豊郷神楽保存会」による豊作の舞などの披露と屋台による懐かしい祭りを2日間開催し、来館者に楽しんで頂きました。

(2)特別展事業

歴史館 1 階の特別展会場において

- ①開館 40 周年記念連動事業として「近代監獄の先駆者・山下啓次郎～五大監獄の設計」展を開催しました。金沢、千葉、奈良、長崎、鹿児島島の五大監獄と言われた煉瓦、石造りの近代監獄の到達点となった山下の行刑建築を紹介しました。
- ②「大正期の後藤慶二、昭和の蒲原重雄にみる豊多摩・小菅刑務所」展を法務省矯正局、奈良監獄資料館、博物館明治村、東京拘置所などから実物の設計図や写真を拝借し、監獄請負人と言われた建築家たちの設計の特徴と魅力を紹介する特別展を開催しました。各新聞や NHK ニュースなどに取り上げられました。

(3)博物館友の会事業

友の会は、15 年前に発足し団体会員 10 団体、個人会員 52 人が入会されています。会員の高齢化でコロナ感染予防のため 2 年間中止していた「白老ウポポイ国立アイヌ博物館と恵庭市の北海道花フェスタ」へのバス研修旅行も 3 年ぶりに 7 月に実施いたしました。最新の国立博物館の展示やミュージアムショップ、ボランティアスタッフの仕事を目の当りにし、会員も今後の博物館でのボランティアに活かそうと述べていました。その他、二見桜並木観桜会、中央道路慰霊碑清掃、重要文化財見守り隊活動、鏡餅作り、雪像作り、ゴールデンウィーク・収穫祭イベントのスタッフとして楽しく成長を目標に全ての活動を実施いたしました。

(4)博物館解説事業

コロナ禍において解説員が同行し、館内を周るガイドツアーは中止をしておりますが、解説があったほうが解りやすいとの声を受け、展示建造物を印刷した全体看板を設置し、その前で 5 分程度の博物館概要説明を団体向け、修学旅行向けに実施を始めました。今後、希望されるお客様に可能な限り実施してまいります。

3 展示建造物の維持管理並びに館内の環境整備を図る

博物館開館から 40 年を迎え、初期の設備は老朽化が進み更新が必要となっている設備、建物が多数ありました。従来の活用方法に拘ることなくランニングコストを考慮し計画に基づき更新いたしました。また昨今の度重なる自然災害への危機に備え、周辺環境の見直しと重要文化財への野鳥や栗鼠などの被害を軽減するため、建造物付近の支障木の伐採を進め、重要文化財建造物の周りに啄木鳥や栗鼠などが寄り付かないよう出来得る限りの対策を講じました。

野外博物館として建物周辺の木は伐採しつつ、自然豊かな森造りを進めるという難題ですが、重要文化財の維持管理という面において永遠に続く課題と向き合っています。

- (1) 館内安全対策事業として二見ヶ岡神社前コンクリートによる石段が凍結と膨張により破損が著しく石段改修工事を行いました。
- (2) 館内環境整備事業として景観水路及び、池などに使用する地下水汲み上げ井戸に設置している揚水ポンプ老朽化のため 1 台更新しました。
- (3) まなびや館調理実習室の給水管が昭和 57 年に設置した給水管であり、水道水の濁りが続くため、安全のために新たな水道管を敷設しました。
- (4) 野外博物館整備事業として、開館から 40 年を経たエゾ松、榎松、白樺などの樹木が支障木となっていたため、剪定伐採を行うとともに、病気がついた桜は 15 本伐採し新たに 15 本植樹しました。引き続き、ガーデンキーパー 2 名を雇用し、花を絶やささないよう花壇整備を進め来館者の癒しとなるガーデンと森造りに努めました。
- (5) 監獄歴史館・裁判所・二見ヶ岡刑務支所、事務所、トイレに設置しているパネルヒーター 20 台の更新を行いました。
- (6) 来館記念用オリジナルスタンプ 10 台は、入館者に人気であり、摩耗劣化が激しかったので新たに 10 台スタンプの更新を行いました。
- (7) 二見ヶ岡刑務支所、裁判所、事務所の蛍光管やグロー器具などが製造中止になってきていること、電気料金の値上げなどが続いているため電気照明の LED 化を進め、全て LED 照明に更新しました。

4 経営の安定を図るための入館者の確保と収益事業の強化

1 入館者の確保

令和4年度の博物館網走監獄の入館者目標は16万人、入館料を40年ぶりに1500円と値上げしスタートいたしました。令和4年度末有料入館者数は、203,426名(前年比154.2%)目標を43,426人ほど上回る結果となりました。2019年から3年ぶりに有料入館者数を20万人にのせることができました。これはコロナウイルス感染者数が前年より減少し、秋から冬にかけてインバウンドが徐々にもどってきたこと、北海道LOVEわり、全国旅行支援などにより個人での安近短の旅行需要が少しではありますが回復してきたことが要因と思われます。また、入館者確保に向けて開館40年をキャッチフレーズに記念事業などでのマスコミ露出が多く、人気情報番組などへの放映機会が増えたことが挙げられます。入館料の値上げにより、入館料収入もコロナ以前の収益を確保できましたので博物館事業も計画通り遂行することができました。

(1)入館者数203,426名(前年比154.2%)入館料収入は274,686,240円となりました。

(2)個人型入館者誘致を目的とする3連休、ゴールデンウィーク、シルバーウィークに向けて、札幌、旭川、十勝釧路地方へ発行部数の覆いフリーペーパーに集中して掲載し、SNSを活用した情報発信に取り組みました。

(3)テレビ、雑誌などの国内、海外メディアに対応し、テレビラジオ番組取材20本の受け入れを行い施設名「網走監獄」の露出を増やし、公式ツイッターを活用し、「入館者1300万人達成日」はなどと広く発信し、網走の海産物毛蟹のプレゼントなど多数の応募がありました。また地域団体ひがし北海道DMOとの連携によるバスツアーデジタルサイネージを利用した広域的な宣伝と今後も継続して情報発信による施設名認知度アップに努めます。

2 収益事業の強化

収益事業はミュージアムショップの売り上げ収入を22,050,000円監獄食堂事業の売り上げ収入を20,150,000円、賃貸料収入を6,550,000円、販売委託手数料400,000円、収益事業全体で496,500,000円を目標設定しておりましたが、入館者数の増加に伴い、収益事業も目標を大幅に上回るすることができました。これは、ミュージアムショップの商品構成を増やしたこと、食堂も座席数を昨年より増やし団体を受け入れた事が要因となっております。さらに賃貸料収入も2年間にわたり家賃の減免と減額を行ってまいりましたが、令和4年度は減免することなくコロナ以前の家賃の振り込みがありました。このため収益事業全体で70,557,368円と目標より20,907,368円の売り上げ増となりました。

(1)ミュージアムショップ売り上げ収入 34,244,528 円 前年比 176%

(2)監獄食堂売り上げ 29,174,370 円 前年比 159%

(3)賃貸料収入 6,547,920 円 前年比 123%

(4)販売委託手数料 590,550 円 前年比 167%

・ 処 務 概 要

1・役員等に関する事項

(1)就任状況等

令和4年度現在役員等

役職名	氏名	当初就任年月日	就任年月日	担当職務	職 業
常勤理事	北野 清丸	平成28年8月1日	令和2年6月22日	理事長	財団役員
常勤理事	今野久代	令和2年11月25日	令和2年11月25日	常務理事	財団役員
理 事	新谷哲也	平成28年5月30日	令和2年6月22日		網走漁業協同組合組合長・会社役員 (漁業・不動産賃貸会社社長)
理 事	角幸博	平成28年5月30日	令和2年6月22日	博物館長	NPO法人役員・北海道大学名誉教授
理 事	大澤慶逸	平成28年5月30日	令和2年6月22日		元網走市副市長
理 事	吉田穂積	令和2年6月22日	令和2年6月22日		大学教授(東京農業大学)
理 事	本間弘哉	令和2年6月22日	令和2年6月22日		会社役員(機械整備会社社長)
理 事	石川康弘	令和2年6月22日	令和2年6月22日		農 業
監 事	松井 丈	平成28年5月30日	令和2年6月22日		会社役員(印刷会社社長)
監 事	中川大	平成24年4月1日	令和2年6月22日		会社役員(機械工具・配管資材卸小売 会社相談役)
評 議 員	藤原孝一	平成24年4月1日	令和2年6月22日		会社役員(測量設計・不動産会社社 長)
評 議 員	東義真	平成24年4月1日	令和2年6月22日		僧侶・幼稚園園長
評 議 員	松下伸次	平成24年4月1日	令和2年6月22日		会社役員(ホテル社長)
評 議 員	小澤友基隆	平成28年5月30日	令和2年6月22日		会社役員(バス会社社長)
評 議 員	新谷光一	平成28年5月30日	令和2年6月22日		会社役員(燃料会社社長)
評 議 員	土屋善治郎	令和2年6月22日	令和2年6月22日		会社役員(建設会社社長)
評 議 員	白濱敏	令和2年6月22日	令和2年6月22日		団体役員(商工会議所専務理事)
評 議 員	木下研一	令和2年6月22日	令和2年6月22日		会社役員(木材工業社長)
評 議 員	菊地美鈴	令和2年6月22日	令和2年6月22日		社会福祉法人保育園事務長
評 議 員	川瀬敏朗	令和2年6月22日	令和2年6月22日		弁護士法人オホーツク北斗代表